

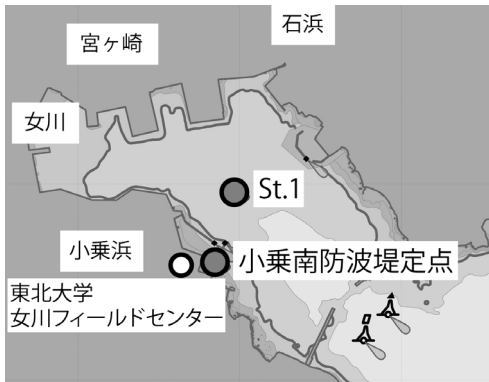
## 週刊 女川湾海況速報 (No.34)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

3 月 11 日から 15 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

## 観測点



## 小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は全層で下降。経時的には 13 日に全層で、15 日には底層（5m）で下降し、6℃台を示した。塩分は先週と比較して表層（0m）で上昇したが、底層では下降。経時的には 13 日に底層で、15 日には全層で下降。13 日と 15 日の水温と塩分の下降は外洋水の影響と推定。

水深 [m]	3月11日 (月)	3月12日 (火)	3月13日 (水)	3月14日 (木)	3月15日 (金)
0	7.1 (32.5)	7.2 (32.9)	6.8 (33.3)	7.0 (33.7)	7.3 (33.5)
5	7.1 (33.9)	7.0 (33.8)	6.7 (33.3)	7.1 (33.7)	6.8 (33.4)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1 パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的には 12 日と 15 日に全層で下降したが、13 日には底層で高い値。（単位は FTU）

水深 [m]	3月11日 (月)	3月12日 (火)	3月13日 (水)	3月14日 (木)	3月15日 (金)
0	0.9	0.4	0.5	0.7	0.4
5	0.6	0.4	1.0	0.6	0.5

③溶存酸素：先週と比較して全層で下降傾向にあるが、9～11mg/l 台を維持。経時的には 13 日に全層で顕著な下降。

水深 [m]	3月11日 (月)	3月12日 (火)	3月13日 (水)	3月14日 (木)	3月15日 (金)
0	11.0	11.0	9.9	10.9	11.0
5	10.6	10.7	10.1	10.7	10.7

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

## St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 6.8～7.1℃、32.8～33.8 パーミルの範囲にあった。水温と塩分は水深とともに上昇傾向。水深 10m 以浅の低温・低塩分な海水は外洋水と推定。濁度は 0.3～1.2FTU の範囲にあり、底層（19m）で最大。溶存酸素は 10.3～10.5mg/l の範囲にあり、水深 10m 付近で最小。

3 月 13 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	6.8	32.8	0.3	10.4
5	6.8	33.3	0.4	10.3
10	6.9	33.4	0.4	10.3
15	7.0	33.6	0.5	10.3
19	7.1	33.8	1.2	10.5

本データの利用については、  
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。